

令和元年度(2019年度)

管理事業名	文化会館事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 1	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化の振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 31	文化会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室				
予算大事業名 文化会館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
事業の目的と概要 市民の文化の向上を図ること目的として設置された文化会館の管理運営(指定管理者による管理運営)及び施設改修事業 大・中・小ホール、展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などの施設の使用許可及び使用料の徴収 施設及び付属設備等の維持管理 催しを円滑に進行し、かつ十分な演出効果が得られるように舞台関係所設備の操作・設備点検などの舞台管理業務 地域の文化振興を目的とした自主及び受託による文化事業の実施 ほか 改修工事のため、令和元年7月から令和2年8月末まで休館。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
開館日数	日	-	331	85	年度内開館日数 (当年度の日数-(保守点検日+臨時休館日+年末年始休館日))
利用率	%	-	49.1	48.6	年間のホール及び諸室の午前・午後・夜間の区分毎(以下「コマ」と表記)にみた利用率(年間利用コマ数合計/年間提供コマ数合計)
入場者数	人	-	268,065	63,443	ホール及び諸室の入場者数
成果の説明	平成29年度は、改修のため全館休館しました。平成30年度は大阪府北部地震発災後大ホールを使用中止としたため、部分的な施設利用でした。令和元年度は改修のため7月以降全館休館しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	34,414	32,575	16,425	△16,150
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	△7	3,433	10,602	7,169
経常収入 小計(a)	34,407	36,008	27,027	△8,981
給与関係費	11,440	21,345	8,263	△13,082
物件費	329,760	377,136	200,758	△176,378
維持補修費	116,394	4,190	1,989	△2,201
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	14	14,747	149	△14,598
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	142,444	211,241	211,241	-
徴収不能引当金繰入額	-	△7	-	7
賞与引当金繰入額	1,003	1,502	725	△777
退職手当引当金繰入額	746	9,959	△11,063	△21,021
支払利息	-	2,742	4,057	1,315
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	601,800	642,855	416,120	△226,735
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△567,392	△606,847	△389,093	217,754
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△567,392	△606,847	△389,093	217,754
一般財源充当額	415,247	410,907	375,502	△35,405
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△152,146	△195,940	△13,591	182,349

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	文化会館使用料 16,425千円 主に令和元年7月1日～令和2年8月31日改修に伴い全館休館のため減額
経常収入その他	平成30年度仕分誤りによる、平成30年度修正再表示(△2,407千円) 平成30年度勘定科目誤り(建設仮勘定)による、令和元年度修正(9,709千円)ほか
物件費	吹田市文化会館指定管理に係る施設管理委託料 199,985千円
維持補修費	仮事務所内裝修繕 1,469千円 仮事務所電源引込裝修 521千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	34,544	36,128	17,317	△18,810
行政サービス活動支出	459,673	423,138	217,381	△205,757
行政サービス活動収支差額	△425,129	△387,010	△200,063	186,947
投資活動収入	130,000	-	-	-
投資活動支出	534,717	-	511,444	511,444
投資活動収支差額	△404,717	-	△511,444	△511,444
財務活動収入	414,600	-	382,700	382,700
財務活動支出	-	23,897	46,695	22,798
財務活動収支差額	414,600	△23,897	336,005	359,902
収支差額 合計	△415,247	△410,907	△375,502	35,405
一般財源充当額	415,247	410,907	375,502	△35,405
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出)改修工事のための工事請負費、工事監理委託料等 (財政活動収入)地方債
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	平成29年度	- 人	- 円	平成29年度は1年間文化会館を休館し、改修を行いました。平成30年度は7月1日から改修工事のため全館休館したため、前年に比べ利用者が減少し、施設利用者1人あたりのコストが大幅に増加しています。
	平成30年度	268,065 人	2,398 円	
	令和元年度	63,443 人	6,559 円	
開館一日あたりのコスト	平成29年度	- 日	- 円	
	平成30年度	331 日	1,942,160 円	
	令和元年度	85 日	4,895,529 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	48,197	64,923	16,726
未収金	107	107	-	地方債	22,585	39,874	17,289
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,502	725	△777
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	△107	△107	-	リース債務	24,110	24,324	215
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	484,474	791,251	306,777
有形固定資産	4,266,078	4,577,227	311,149	地方債	392,015	734,841	342,826
土地	2,597,020	2,597,020	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,571,752	1,386,074	△185,678	退職手当引当金	18,834	7,109	△11,724
リース資産	97,306	72,979	△24,326	リース債務	73,625	49,301	△24,324
建設仮勘定	-	521,154	521,154	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	532,671	856,174	323,504
固定資産	-	-	-	純資産	3,962,211	3,948,620	△13,591
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	200,000	200,000	-
重要物品	28,804	27,567	△1,237	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	200,000	200,000	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	4,494,882	4,804,794	309,913
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

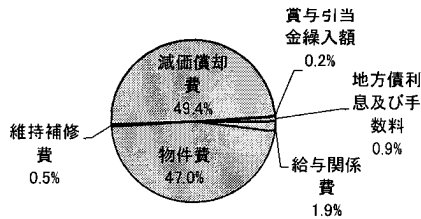
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇員	審議会委員等
	月平均	月平均	月平均	年間従事日数	実人数
	1.14 人				
給与関係費等	△ 2,075 千円				
内、時間外勤務手当	40 千円				

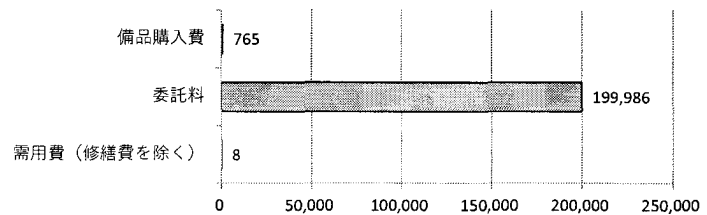
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	建物減価償却(145,559千円)、工作物減価償却(40,119千円)による減
リース資産	舞台音響リース、舞台照明リース
建設仮勘定	文化会館改修工事(令和2年8月竣工予定)
重要物品	重要物品減価償却(1,237千円)による減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市文化会館
取得年月日	昭和60年3月1日
建物・工作物の取得価額	6,419,822 千円
建物・工作物の減価償却累計額	5,033,748 千円
利用料金収入	16,425 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		1.8	0.1	0.0	△0.1
施設老朽化比率		72.6	75.5	78.4	2.9
受益者負担比率		5.7	5.1	3.9	△1.2
徴収不能引当率		50.0	100.0	100.0	0.0
一般財源充当比率		41.8	91.9	48.4	△43.5
経常費用対公共資産比率		9.4	10.0	6.5	△3.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

IV 総括

▽分析結果の説明

令和元年7月1日～令和2年8月31日全館休館して改修工事を実施しており、事業活動が縮小しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成29年度以降文化会館をフルオープンできていない状況が続いており、令和2年9月のリニューアルオープン後はこれまで同様の高い利用率で使用していただけるようにサービスの充実が求められているところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、劇場・ホールの使用には大きな制約がかかる中、これまでにない施設運営の課題があります。